

## ■ 会議概要

### 第7回鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会

---

◆日 時 平成31年2月18日(月)午後2時～3時50分

◆会 場 鶴岡市職員研修会館 第1・2研修室

◆出席者

佐藤滋委員（会長）、高谷時彦委員、野堀嘉裕委員、渡部幸委員、阿部博行委員、酒井忠久委員、堀誠委員、増田亨委員、石塚健委員、國井儀昭委員、稲泉眞彦委員、秋野公子委員、阿部良一委員、勝木正人委員

◆欠席者

粕谷典史委員、嶋貫修委員、大場秀樹委員

◆公開・非公開 公開

◆傍聴人の人数 0人

◆次 第

1. 開 会
2. 会長あいさつ
3. 委員紹介
4. 報告
  - (1) 平成30年度の事業報告について
5. 協議
  - (1) 平成31年度事業計画について
  - (2) 歴史的風致維持向上計画の一部変更について
6. その他
7. 閉 会

◆ 質疑

---

会長

史跡松ヶ岡開墾場保存修理事業だけが計画通り進捗していないということだが、これはどのような理由によるものか。

事務局

国の補助申請を挙げてはいるが、申請の計画通りに事業が進まず、翌年に持ち越しするという状況になっていることから、遅れているということで記載させていただいた。

会長

全般的には順調に進んでいるということで、たくさんの事業に取り組んでいただけたということだと思う。

それでは報告ということによろしいか。

(承認)

**委員**

社会資本整備総合交付金事業について、平成 30 年度の実績と 31 年度の要望を見ると、基幹事業と効果促進事業の比率が変わっている。基幹事業から効果促進事業にウェイトが移ってきていて、その効果の表れが城下町つるおかリブランディングプロジェクト推進事業に表れているという認識でよろしいか。

**事務局**

この補助メニューには基幹事業と効果促進事業について、8:2 の比率の制限がある。全体計画の中で基幹事業があつてそれを効果促進事業で高めようということによっており、年度毎に比率の変化がある。城下町つるおかリブランディングプロジェクト推進事業についてもソフトだけでなくそれに伴ってハード事業も出てくるのかと思う。

**委員**

基幹事業と効果促進事業の比率は今年度と来年度だけで整えなくていいのか。

**事務局**

必要な事業を優先的に進めていくことになるが、I 期計画の 5 年間での比率を勘案して最終的に割合を 8:2 に近づけていくように整備計画を立てていきたい。

**会長**

大宝館整備が終わったということでハード事業が減ることだと思う。

蚕室群活用整備事業について、保存活用計画策定委員会で協議中の「史跡松ヶ岡開墾場保存活用計画」はどのような内容か。

**事務局**

文化庁が指定する文化財の中長期的な保存活用整備に関する項目ということで、現状変更の取扱いの基準を定めたり、どのような計画を鶴岡市で定めてどのような保存事業や整備事業を年次的にしていくのかを示したり、松ヶ岡開墾場をどのような運営で臨んでいくのかや計画策定後の進行管理について定める内容で策定している。

**会長**

具体的な内容で現在話せることはあるか。

**事務局**

ひとつは、松ヶ岡開墾場の本質的価値は何かということをはっきりとしようということであ

って、史跡地内とその周辺の文化財を一覧表にして、それらをどのようにして価値付けできるかを整理している。現在いろいろな課題があり、例えばサインが統一されていないとか、内外装については史跡にしては手が加えられており、それをどう統一して見せていくか、また、1番蚕室から5番蚕室までをどう活用していくかといったものを定めている内容となっている。建物だけでなく自然植生についても対象として今後の整理を議論いただいている。

#### 会長

計画を今年度策定し、計画に基づく事業の実施は来年度からではなく平成32年度からを想定しているのか。

#### 事務局

計画は来年度の4月から発効する。計画の中に経過観察というものがある、来場者とか自然環境にどのような影響が出るのかといった経過を管理しながらより良い保存活用整備に向けた計画の進行管理を新しい組織、市役所の体制で臨んでいくというものである。

#### 委員

武家屋敷や道路などが一部残っているが、城下町の名残が少なくなっており、そういった城下町の名残を把握する必要があると思う。その後に案内板を作るとか散策コースを作るとか、あるいはパンフレットを作るとかということが出てくると思う。一番最初に鶴岡公園周辺に城下町の風情を伝えるものがどれくらいあるかということ进行调查してみる必要があると思う。

#### 会長

地図できちんと表現するという話があったが、そのような検討は。

#### 事務局

城下町つるおかりブランディングプロジェクト推進事業の実施計画の資料の中に調査研究活動という項目がある。前半については、松ヶ岡を含めた城下町の沿革などの調査の必要性を感じているので、調査の対象として検討していきたい。

#### 会長

他の都市では調査を相当している。外から訪れる方も目が肥えているので、ちょっとした説明だけでは満足しなくて、きちっとした調査研究とか、掘るなどした考古学的な資料があって公開していると非常に興味を持つ。学術的な調査を含めて検討いただけるとよろしいかと思う。

#### 委員

鶴岡市の案内サインについては、どんどん改めながら良いサインが出てきたように思うが、

現在どういう方向でサインを作ろうとしているのか教えていただきたい。

#### 事務局

今年度、サイン計画（歴史的風致重点地区）を策定した。策定にあたっては、歴まち計画重点三地区の関係団体、専門家から意見をお聞きしながら計画を立てている。計画では外国人を含めた来訪者に対してデザインや周遊性の促進について練りながら検討した。中では、煩雑なものにたくないということがあって、皆さんの意見を聞きながら整備を進めていきたい。

#### 委員

いろんな事業が進行していていいと思う。歴まちの事業というのは目的のひとつに歴史的な価値の評価をする部局と、それをまちづくりなどで活用していく部局が一体となって促進していく体制を作っていくことも元々の法律の趣旨かなと思っている。具体的な事業でいろいろな方と付き合っているが、教育委員会は歴史的な価値が大事だと考えるし、都市計画課は使っていく、観光部局はお客さんに来てもらうとかということがあると思うが、それらを総合していく動きを進行しなければならないという立場でいるが、そういった動きはあるか。サインにしても、日本遺産で建てられたり市の計画で建てられたりと錯綜していて、手向地区もいろんな主体が建てたものが並んでいる。そういった状況を徐々に整理していかなければならないと思うが、何か取組みはあるのか。

#### 事務局

今年度サイン計画を策定したが、その背景には、鶴岡公園周辺にはいろいろな看板があり煩雑だということもあるし、地域によってはなかなかその場所に行けないということや中の様子が分からないということもあった。歴まち重点三地区について、これまでなかったルールを作り、補助金も使ってルールに基づいた設置をしている。松ヶ岡に日本遺産事業で作った分とサイン計画の補助金で作った分があるが、それらは今回作ったルールに基づいてやってもらっている。これから手向地区に設置するものについても、色については手向は濃い藍色、松ヶ岡は千歳緑色、鶴岡市内は弁柄色ということで統一性を持たせている。そのためこれから他の部局で作ろうとしても、サイン計画に基づいて作ってくださいとなるし、これから設置するものについても撤去するものについてもこのルールに基づいて作ることによって、訪れる方々がこれは観光の看板だと分かるようになって考えている。三重点地区を結ぶような観光標識については弁柄色で統一して、手向地区や松ヶ岡地区に入ればそれぞれの地区の色になり、若干のデザインは違うが、表示内容や標記の方法については、時間はかかりながらも統一しているという風になっていくと考えている。温海や藤島といった地域についても、時間がどれくらいかかるか分からないが、ルールに基づいてこれから建てられていくことで鶴岡市全体の統一性が保たれていくと思う。

それぞれの部署で所属官庁があって、考え方などの意思疎通がしにくいという意見だと思うが、歴史的風致維持向上計画については事務局という形で都市計画だけでなく教育委員会、

政策などが入って、一緒になって会議を開いて意見交換、情報共有している。新たな部署については今のところないが、この形態の中で不具合が見受けられるようであれば意見をいただきながらスムーズに事業が進められるようにしたいと考えているので、まずはこの形で進めていきたい。

#### 委員

他の市によっては部局統合もある。統合すべきということではないが、一緒に計画が進められるようになって、管理も一体的な視点で進められるようになると良いなという意見である。

#### 事務局

鶴岡公園については既存看板については手をかけないで、それらが壊れたり撤去により更新するときに新しくするという考えでいる。寄贈を受けたり最近建てたものもあるため、様子を見ながらあまり煩雑にならないように配慮したいと思うし、いちばんは観光客の方が駐車場の場所がわからないというので、駐車場がわかるように誘導したいと考えている。

#### 会長

サインはうまくやっている所と、まだ整理ができていない所がはっきりしている。まだうまくやっている所が多いというわけではないが。

#### 委員

増田町は伝統建築物群保存地区があり、最近歴まち計画をつくっている。増田町では新しく修理保存した建物には表示がある。手向地区でも歴まちで修理している建物があるが、歴まち事業で修景整備・保存した建物にも表示し、また、伝統的な建造物についても伝統的建造物だと表示することが必要だと思う。表示することによって、これは歴史的建造物だとか修景整備した建物だということを訪れた人が分かるため、親切だと思う。宿坊でも茅葺き屋根や護摩壇が残っている所がある。そういったところは保存してもらいたいし、その意味でも表示をつくってもらいたい。

#### 事務局

伝統的建造物群保存地区として国が指定した地区を歴まちの区域にした場合には意味合いが少し違う。萩市の伝統的建造物群保存地区ではすべて土塀にするよという決まりの中でまちづくりをしている。昔からの古い建物が残っているという場合とでは位置づけが違ってくる。

#### 委員

増田地区では群として指定しているので、表だけではなくて建物全部を建替えしている。

会長

手向地区は街なみ環境整備事業で修景を行った。その実績を表示するということがか。

委員

はい。

委員

サイン計画の中にうまく位置づければできるのかなとは思う。小路名に関するサインは今年できる予定で、建物がいつできたかは調査していて表記出来るし、ここは昔は宿坊でしたということも表記できないか、などのアイデアを出し合っている。

委員

歴史的建造物等保存対策調査事業に関係して、衣食住のうち、住については歴史的建造物改修手法研修会の予定があり、歴史的的重点地区が作られていく中での技術的な調査ということだと思うが、食について、地域につながっていく食の歴史の聞き取りの計画はあるか。食と住については時々感じることもあるので聞きたい。

事務局

歴史的建造物の活用にあたっては法的なものや手法に関して様々な制限や課題がある。今年度はまちなみの保存に関して建築の手法について研修を行いたいと考えている。

委員

歴史的建造物等保存対策調査事業という名称を見て思ったことだが、城下町つるおかりブランディングプロジェクト推進事業にあるように、今までになかったものを作り出してブランド化するというものではなく、歴史的なまちの価値を高めるために、今までにいたるまでの建築や食を残していこうという、そのための調査や聞き取りの企画があるかということ。

事務局

今年度は歴史的建造物をそのようにして改修していけばいいかという勉強会を開催しながら、食については研修会の経過等を踏まえて今後検討していきたい。

事務局

歴まち計画について、歴まち事業は建物が中心になっているが、本来は昔からある建物を活かした生活、営みを残していこうという計画である。そういったことで手向地区の精進料理や御年夜は計画書内に記載がある。また、松ヶ岡の開墾地を地域住民が共同で維持管理してきたことについても無形のものとして入れている。そのため、食が城下町の文化として引き継がれているものがあれば継承していくことはやぶさかでない。

**委員**

鶴岡公園内堀周辺道路修景事業電力柱移設補償に関連して、何年もこの道路を使い、見てきてわかるのだが、堀側にある桜の木は成長せず、堀側に傾いている。市民プールの側の道路は、舗装する際に木の近くまで舗装したがゆえに木は育たず死んでいく。電柱の移設は進めていただきたいが、工業高校と南高校の前面道路は計画がきちんとあって、それに基づいてされているのか。また、50年ほどの間で木が堀側に傾いて道路が広がったように感じる。少なくとも車が走ったことにより影響を受けており、今のままでは木を植えてもまた同じようなことになるので何らかのやり方を決めてやらないと、電柱の移設だけでは済まないのではないかと思う。堀の浄化なども含めて全体として計画していかないといけないのではないかと思う。木に札がついているものもあり、どういったことになっているのかお聞きしたい。

**事務局**

今年度、桜や松の樹木を更新するための前段として樹木の状況調査をしており、今後、樹木の更新計画を作る予定である。道路については、電柱がなくなることによって車道と歩行者の空間を分離し安全を確保する。また、電柱がなくなることによって景観にもよいということで裏配線による無電柱化を計画している。道路全体の設計については、現時点では電柱を移設して車道幅を確保し歩道との境がわかるようにするというくらいである。歩道となると堀の縁にかかることもあり、また、桜の木のこともあるため、カラー舗装やその他手法があると思うが、わかるように区切りをつけるということで向かっている。具体的に計画をつくった段階では皆さんにお示ししたい。現時点では特別なものをつくるというよりは、安心安全なものに配慮していきたいと考えている。

**委員**

致道博物館のほうまで電柱移設するのか。

**事務局**

はい。

**委員**

工業高校の門のところを拡幅すると聞いているがどのようになるのか。

**事務局**

工業高校の体育館の改築工事が遅れており、卒業式や入学式の時期に入ってきたため、その時期を避けた形で時期を見て拡幅工事を実施していく予定でいる。また、工業高校の創立100周年もあるため、そちらともバッティングしないように事業調整しているところである。

**委員**

致道博物館内の御隠殿やお茶室の屋根などが歴まち事業のおかげでうまく整備できて、入

館された方々が大変喜んでいる。

会長

鶴岡公園の外周道路はずっと懸案であったが、基本構想はできて基本設計に入る段階になったようだ。電柱のほうは工事に入るのか。

事務局

来年度の予定で予算要求している。

会長

裏配線であれば皆さんの協力をしていただかなければいけないので、それがうまく得られればいい形になると思う。

事業計画、計画の一部変更について承認するという事によろしいか。

(承認)

以上